

形質変更時要届出区域台帳

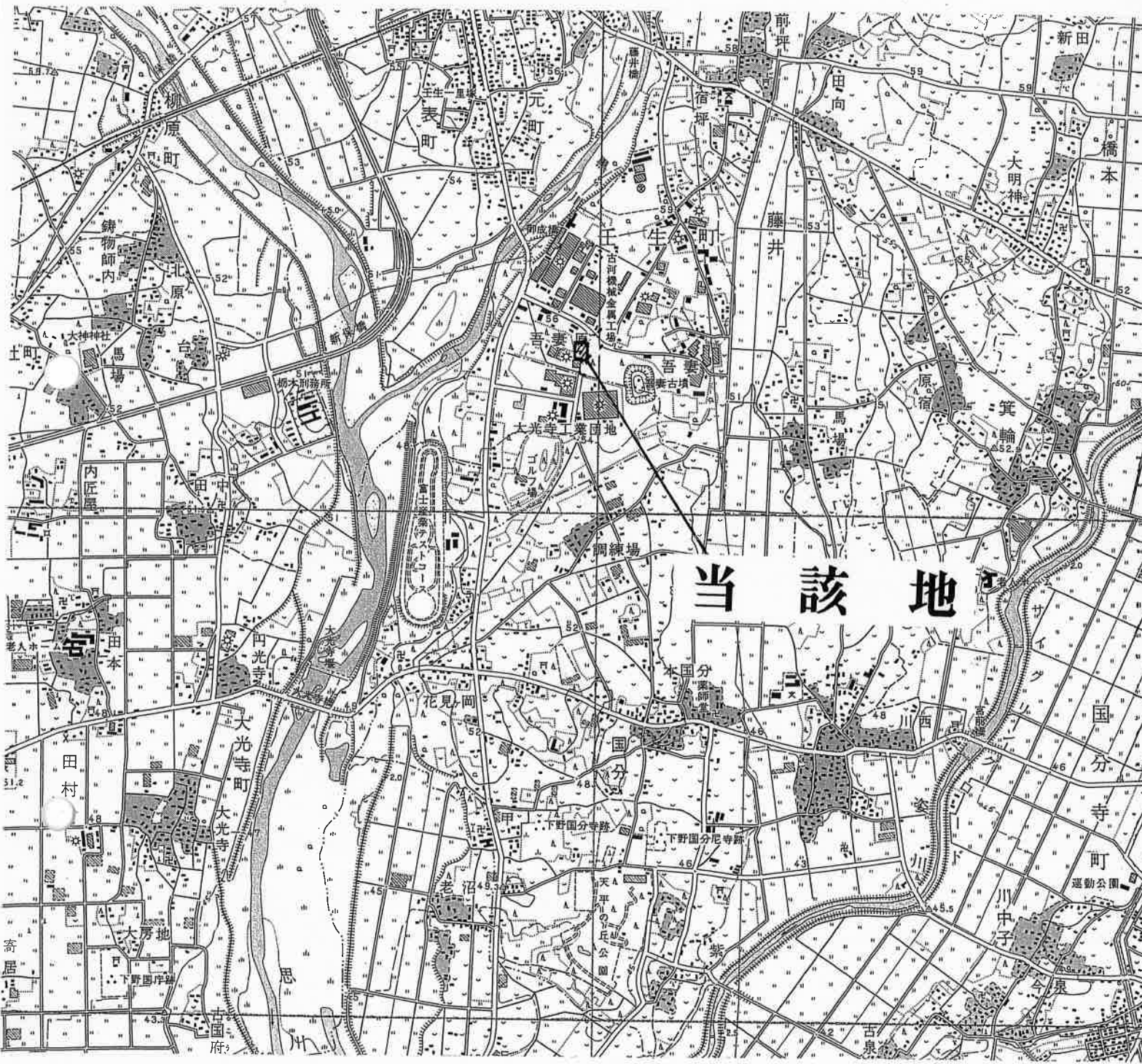
栃木県

整理番号	平-23-3	指定年月日・指定番号	平成23年11月8日 形-3	所在地	下都賀郡壬生町大字壬生乙字吾妻原3483番外2筆の各一部	
調製・訂正年月日	平成23年11月8日、平成24年4月17日消除					
形質変更時要届出区域の概況	事業場				面積	200.0m <sup>2</sup>
法第14条第3項の規定に基づき指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨						
土壌汚染のおそれの把握等、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壌汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨及び当該省略の理由						
汚染の除去等の措置が講じられた形質変更時要届出区域にあつては、その旨及び当該汚染の除去等の措置						
第58条第4項第9号から第11号までに該当する区域にあつては、その旨						
形質変更時要届出区域内の土壌の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類		適合しない基準項目		指定調査機関の名称
	平成23年10月5日	鉛及びその化合物		含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		ジオテクノス株式会社
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
土地の形質の変更の実施状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の形質の変更の種類	実施者	土壌搬出	汚染土壌の処理方法
	平成24年2月6日	平成24年2月16日	汚染土壌の掘削除去	(株)アクトリー	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	分別等処理
					有・無	
					有・無	

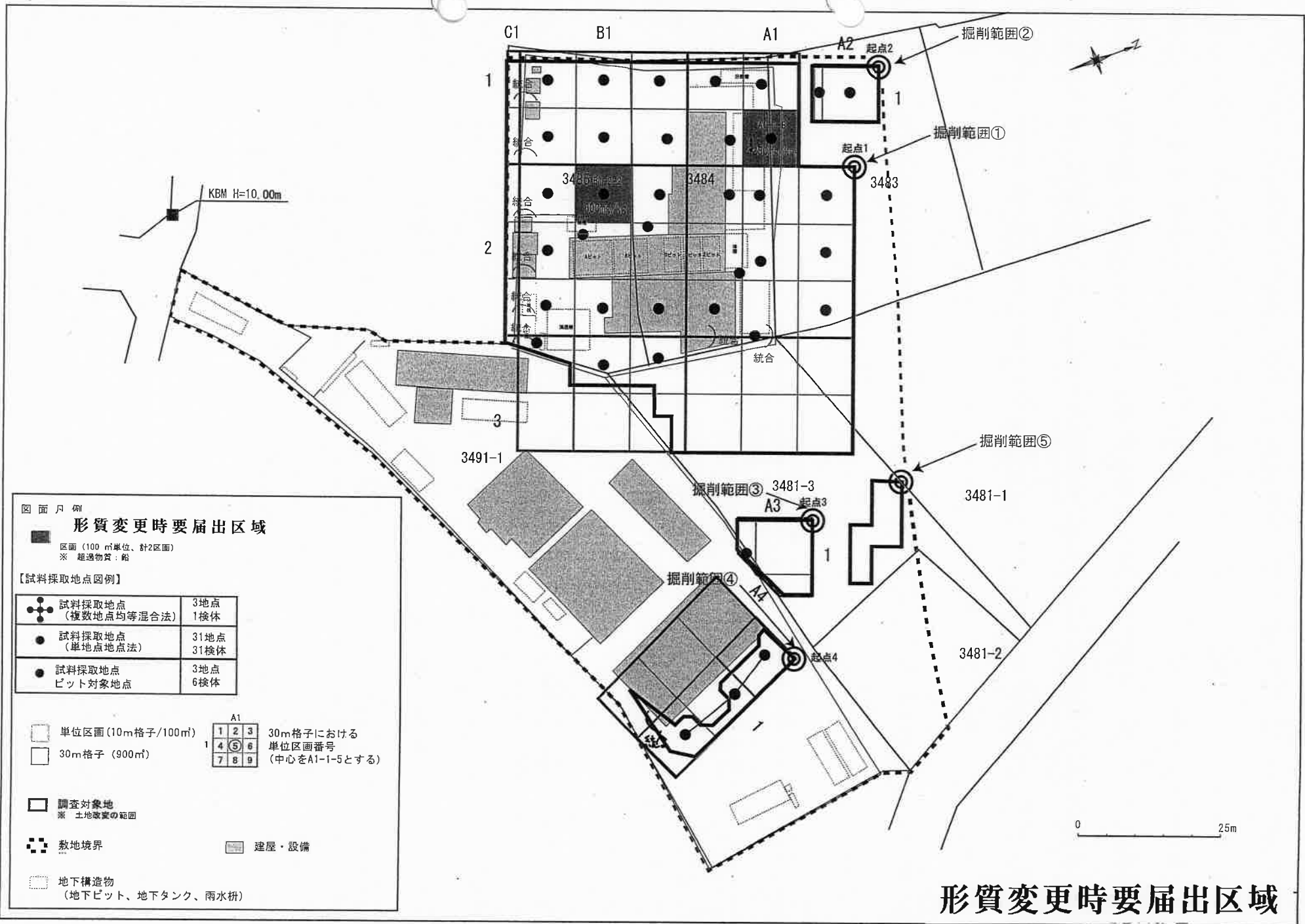
備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 「形質変更時要届出区域内の土壌の汚染状態」については、土壌その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。

# 位置図



当該地



図面凡例

**形質変更時要届出区域**

■ 区画 (100 m<sup>2</sup>単位、計2区画)  
※ 越境物質：鉛

【試料採取地点図例】

	試料採取地点 (複数地点均等混合法)	3地点 1検体
	試料採取地点 (単地点地点法)	31地点 31検体
	試料採取地点 ピット対象地点	3地点 6検体

□ 単位区画 (10m格子/100m<sup>2</sup>)  
□ 30m格子 (900m<sup>2</sup>)

A1		
1	2	3
4	5	6
7	8	9

30m格子における  
単位区画番号  
(中心をA1-1-5とする)

□ 調査対象地  
※ 土地改良の範囲

⊞ 敷地境界

建屋・設備

□ 地下構造物  
(地下ピット、地下タンク、雨水拵)

**形質変更時要届出区域**

KBM H=10.00m



図面凡例

【試料採取地点図例】

	試料採取地点 (複数地点均等混合法)	3地点 1検体
	試料採取地点 (単地点地点法)	31地点 31検体
	試料採取地点 ピット対象地点	3地点 6検体

【おそれ区分図例】

	土壤汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地 (第二種2項目を対象)	地番: 3483 3484 3485
	土壤汚染が存在するおそれが少ないと認められる土地 (第二種2項を対象)	地番: 3491-1
	土壤汚染が存在するおそれがないと認められる土地 (第二種2項を対象)	地番: 3481-1, -2, -3

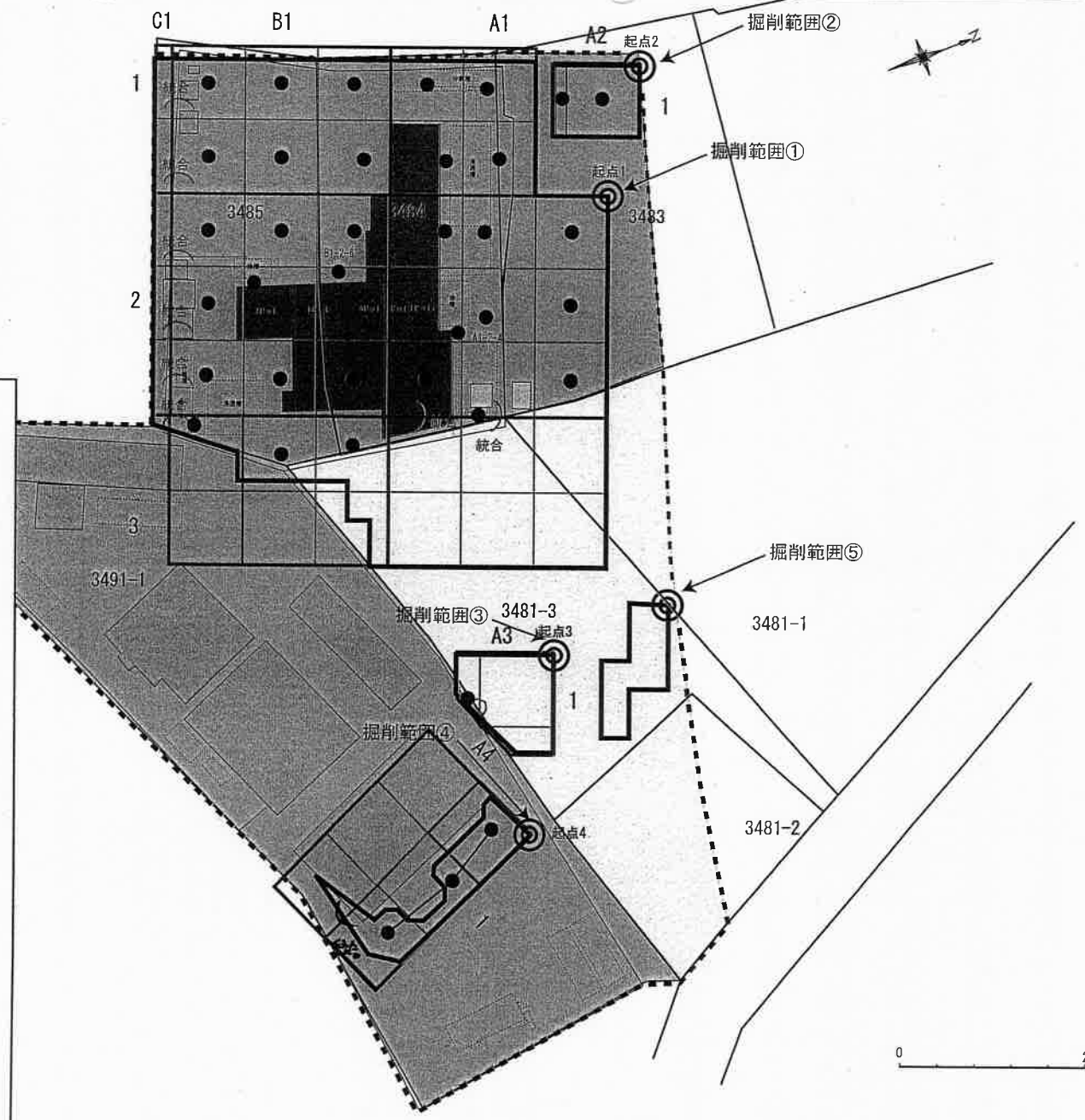
	単位区画 (10m格子/100㎡)	<table border="1"> <tr><td colspan="3">A1</td></tr> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr> </table>	A1			1	2	3	4	5	6	7	8	9
A1														
1	2	3												
4	5	6												
7	8	9												
	30m格子 (900㎡)	30m格子における 単位区画番号 (中心をA1-1-5とする)												

- 特定有害物質を処理していた可能性のある施設  
※ 可能性物質: 鉛
- 特定有害物質を含む廃棄物を保管していた施設 (廃酸タンク)  
※ 保管物質: 鉛

調査対象地  
※ 土地改良の範囲

敷地境界 建屋・設備

地下構造物  
(地下ピット、地下タンク、雨水枙)



0 25m

第二種特定有害物質のおそれ区分及び試料採取地点 (鉛)

本調査の実施日及び試料分析方法

○ 土壌ガス調査

- ・試料採取日：平成23年8月23日～8月24日
- ・測定日：平成23年8月23日～8月24日
- ・測定方法：GC-PID/DELCD法

○ 表層土壌調査

- ・試料採取日：平成23年8月23日～8月24日
- ・分析日：平成23年8月24日～9月5日
- ・分析方法：

カドミウム：JIS K 0102 55.3 ICP発光分光分析法

鉛：JIS K 0102 54.3 ICP発光分光分析法

六価クロム：JIS K 0102 65.2.1 ジフェニルカルバジド吸光光度法

表層土壌調査結果一覧 (1)

測定項目	第二種特定有害物質					
	溶出量(mg/L)			含有量(mg/kg)		
	カドミウム及びその化合物	六価クロム化合物	鉛及びその化合物	カドミウム及びその化合物	六価クロム化合物	鉛及びその化合物
測定方法	JIS K 0102-55.3	JIS K 0102-65.2,1	JIS K 0102-54.3	JIS K 0102-55.3	JIS K 0102-65.2,1	JIS K 0102-54.3
汚染状態に関する基準	0.01以下	0.05以下	0.01以下	150以下	250以下	150以下
1 A1-1 - 4	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	10
2 A1-1 - 5	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	55
3 A1-1 - 7	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	9
4 A1-1 - 8	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	250
5 A1-2 - 1	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	5
6 A1-2 - 2	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	44
7 A1-2 - 3			<0.005			18
8 A1-2 - 4	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	150
9 A1-2 - 5	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	7
10 A1-2 - 6			<0.005			15
11 A1-2 - 7	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	6
12 A1-2 - 8	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	15
13 A1-2 - 9			<0.005			14
14 A2-1 - 2			<0.005			110
15 A2-1 - 3			<0.005			100
16 A3-1 - 2	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	7
17 A4-1	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	3

※A4-1は複数点均等混合

<	: 基準適合 (不検出もしくは定量下限値未満)
	: 基準適合 (基準値以下にて検出)
	: 基準不適合



表層土壌調査結果一覧 (2)

測定項目	第二種特定有害物質						
	溶出量(mg/L)			含有量(mg/kg)			
	カドミウム及びその化合物	六価クロム化合物	鉛及びその化合物	カドミウム及びその化合物	六価クロム化合物	鉛及びその化合物	
測定方法	JIS K 0102-55.3	JIS K 0102-65.2.1	JIS K 0102-54.3	JIS K 0102-55.3	JIS K 0102-65.2.1	JIS K 0102-54.3	
汚染状態に関する基準	0.01以下	0.05以下	0.01以下	150以下	250以下	150以下	
18	B1-1 - 4	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	6
19	B1-1 - 5	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	5
20	B1-1 - 6	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	4
21	B1-1 - 7	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	30
22	B1-1 - 8	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	9
23	B1-1 - 9	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	6
24	B1-2 - 1	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	8
25	B1-2 - 2	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	600
26	B1-2 - 3	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	19
27	B1-2 - 4	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	7
28	B1-2 - 5	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	10
29	B1-2 - 6	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	13
30	B1-2 - 7	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	13
31	B1-2 - 8	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	7
32	B1-2 - 9	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	13
33	B1-3 - 1	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	8
34	B1-3 - 2	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	11
35	B1-3 - 3	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	6

<	:基準適合(不検出もしくは定量下限値未満)
○	:基準適合(基準値以下にて検出)
△	:基準不適合

表層土壌調査結果一覧 (3)

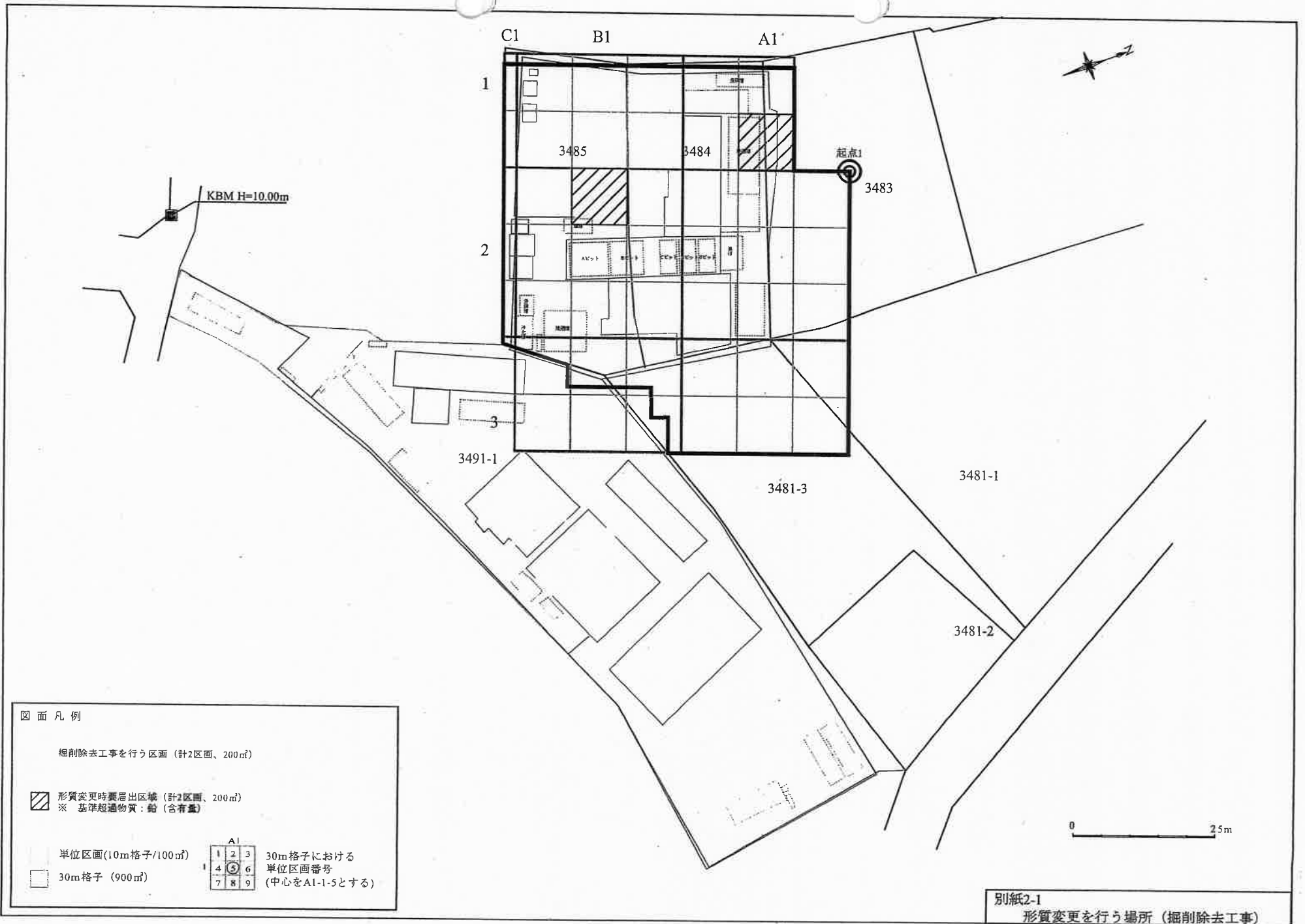
(地下ピット底面下の土壌調査結果)

測定項目		第二種特定有害物質					
		溶出量(mg/L)			含有量(mg/kg)		
		カドミウム及びその化合物	六価クロム化合物	鉛及びその化合物	カドミウム及びその化合物	六価クロム化合物	鉛及びその化合物
測定方法		JIS K 0102-55.3	JIS K 0102-65.2.1	JIS K 0102-54.3	JIS K 0102-55.3	JIS K 0102-65.2.1	JIS K 0102-54.3
汚染状態に関する基準		0.01以下	0.05以下	0.01以下	150以下	250以下	150以下
1	A1-2 - 4	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	3
2	B1-2 - 5	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	5
3	B1-2 - 6	<0.001	<0.04	<0.005	<1	<2	5

※ 試料採取位置はピット下GL-7.0~7.5m間。

<	: 基準適合 (不検出もしくは定量下限値未満)
	: 基準適合 (基準値以下にて検出)
	: 基準不適合





図面凡例

掘削除去工事を行う区画 (計2区画、200㎡)

形質変更時要届出区域 (計2区画、200㎡)  
※ 基準超過物質：鉛 (含有量)

単位区画(10m格子/100㎡)

A1		
1	2	3
4	5	6
7	8	9

30m格子における  
単位区画番号  
(中心をA1-1-5とする)

30m格子 (900㎡)

0 25m

別紙2-1  
形質変更を行う場所 (掘削除去工事)

KBM H=10.00m


地点 B-2-2(汚染物質：鉛)			
地点	土質	溶出量 (mg/L)	含有量 (mg/kg)
基準値	-	0.01以下	150以下
0~0.05m	被覆(砕石)	-	-
0.05~0.55m	埋土 (礫混じり砂)	<0.005	600
0.65m		<0.005	7
0.75m		<0.005	12
0.85m	埋土 (礫混じり砂)	<0.005	9
0.95m		<0.005	6
1.05m		<0.005	34
2.05m		<0.005	7
3.05m	埋土 (砂混じりシルト)	<0.005	4
4.05m		<0.005	2
5.05m		<0.005	6
6.05m		<0.005	4
7.05m		<0.005	2
8.05m	砂礫	<0.005	2
9.05m		<0.005	2
10.05m		<0.005	5
地下水	<0.005(水位：G.L-4.85m)		


※ 深度は被覆部も含める。


地点 A1-1-8(汚染物質：鉛)			
地点	土質	溶出量 (mg/L)	含有量 (mg/kg)
基準値	-	0.01以下	150以下
0~0.10m	被覆(砕石)	-	-
0.10~0.60m	埋土 (礫混じり砂)	<0.005	250
0.70m		<0.005	22
0.80m		<0.005	18
0.90m	埋土 (礫混じり砂)	<0.005	22
1.00m		<0.005	24
1.10m		<0.005	8
2.10m		<0.005	8
3.10m	埋土 (砂混じりシルト)	<0.005	5
4.10m		<0.005	8
5.10m		<0.005	4
6.10m		<0.005	4
7.10m		<0.005	1
8.10m	砂礫	<0.005	1
9.10m		<0.005	3
10.10m		<0.005	3
地下水	<0.005(水位：G.L-4.10m)		

図面凡例

掘削除去工事を行う区画及び深度

 形質変更時要届出区域(計2区画、200㎡)  
 ※ 基準超過物質：鉛(含有量)

 単位区画(10m格子/100㎡)

 30m格子(900㎡)

A1
1 2 3
4 5 6
7 8 9

30m格子における  
単位区画番号  
(中心をA1-1-5とする)



別紙2-2  
形質変更を行う場所の状況(既存調査結果)

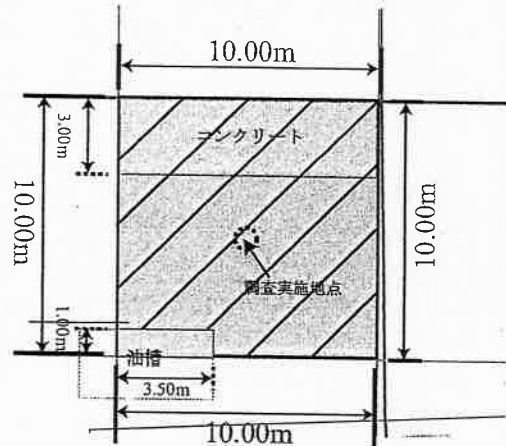
C1 B1 A1



**【B1-2-2区画 (拡大図)】**

本工程では、①被覆 (コンクリート、碎石) 撤去、②基準不適合土壌の掘削 (G.L. 0.65 mまで)、③地中構造物 (油槽) 撤去、④清浄土埋め戻しの手順で行う。なお、土壌掘削はバックホウを用いて行う。

※ B1-2-2区画では、被覆が地表面 (G.L.) から0.05m又は0.4mまで存在する。また、油槽は地表面 (G.L.) から0.65m以深まで存在すると想定している。

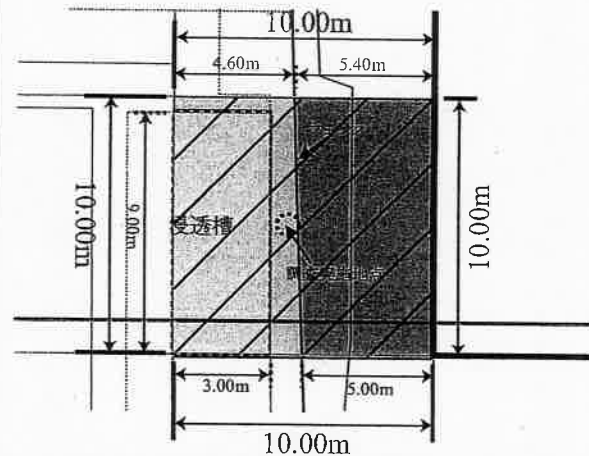


**【A1-1-8区画 (拡大図)】**

本工程では、①被覆 (コンクリート、碎石) 撤去、②基準不適合土壌の掘削 (G.L. 0.70 m又は1.00 mまで)、③地中構造物 (浸透槽) 撤去、④清浄土埋め戻しの手順で行う。なお、土壌掘削はバックホウを用いて行う。

※ A1-1-8区画では、被覆が地表面 (G.L.) から0.1mまで存在する。また、浸透槽はG.L. 0.4~6.1mまで存在する。

※ フェンス北側の地表面は、調査実施地点の地表面より約0.30m (想定) 盛土されていることが確認されている。



3481-3

起点J  
3483

図面凡例

- G.L.-0.95m掘削範囲 (計52.0㎡)  
※ 盛土含む
- G.L.-0.65m・深度0.70m掘削範囲 (計118.0㎡)  
※ 土間含む
- コンクリート、地中構造物など  
※ 地中基礎、油槽および油槽。
- 形状変更時要届出区域 (計2区画、200.0㎡)  
※ 基準超過物質：鉛 (含有量)

単位区画 (10m格子/100㎡)

	A1	
	1 2 3	
	4 5 6	
	7 8 9	

30m格子における  
単位区画番号  
(中心をA1-1-5とする)

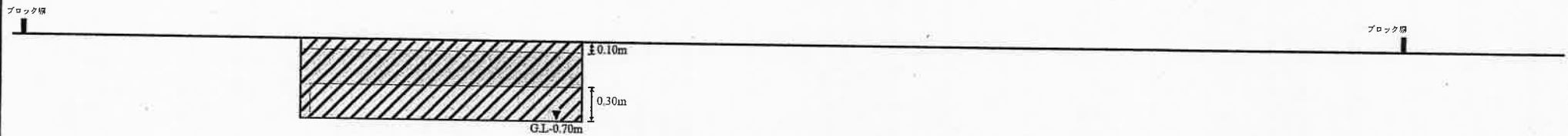
30m格子 (900㎡)

0 2.5m

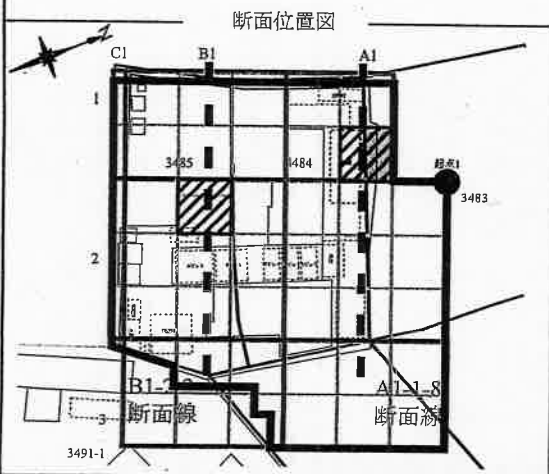
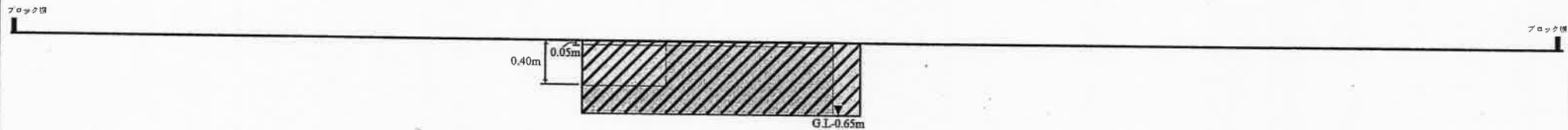
別紙3

① 掘削除去工事の施工方法 (平面図)




A1-1-8断面

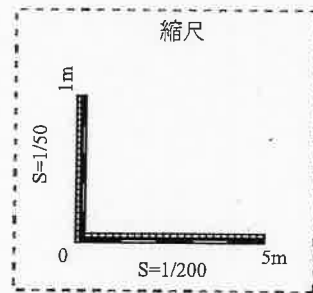


B1-2-2断面



凡例

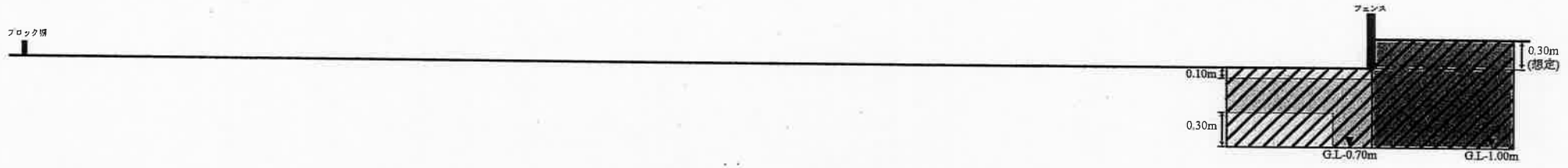
-  形質変更時要届出区域
-  G.L.-0.7、0.65m掘削土壌
-  被覆、地中構造物



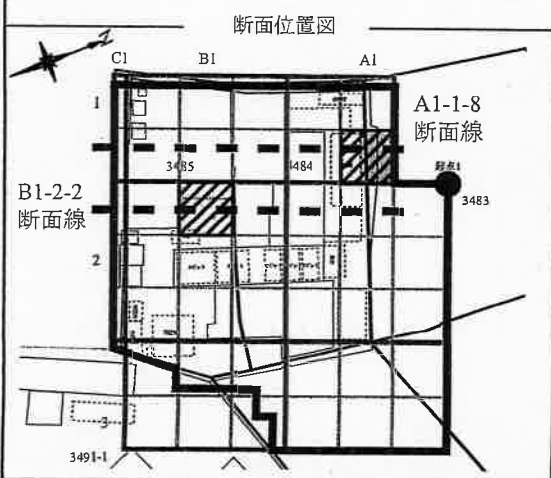
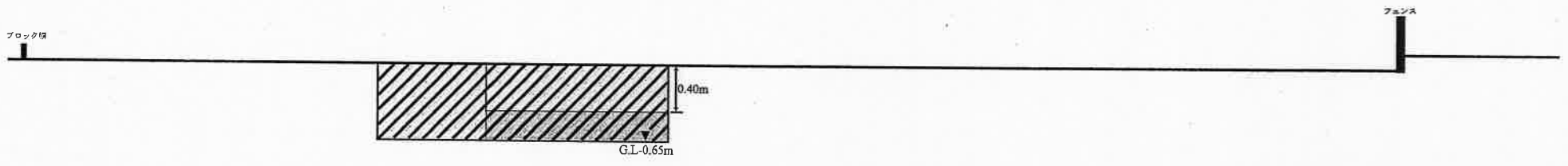
別紙3

② 掘削除去の施工方法  
(東西方向・断面図)





A1-1-8断面

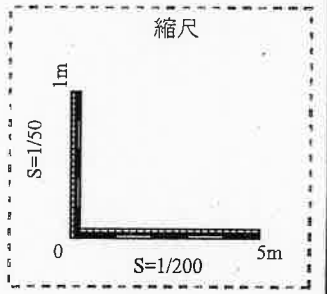


B1-2-2断面



凡例

-  形質変更時要届出区域
-  G.L.-0.95m掘削土壌
-  G.L.-0.7、0.65m掘削土壌
-  被覆、地中構造物



別紙3  
②' 掘削除去工事の施工方法  
(南北方向・断面図)